

高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画 各施策指標の進捗状況一覧表

※「No.」欄…太字・下線ありのものは、平成21～23年度高齢者保健福祉計画でも指標となっていたもの。
 ※「現状」欄…「指標名」欄に【二実計】とあるものは平成23年度末（計画策定当時の見込）。それ以外は平成22年度。

※「指標名」欄…★は、「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」が出典。
 ※「頁」欄…新宿区高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画（平成24年度～平成26年度）の掲載ページ。

資料 1

基本目標1 社会参加といきがいづくりを支援します

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
1	33	地域活動参加者の割合（一般高齢者調査）★	—	23.7%	30%	—	—

施策1 いきがいのある暮らしへの支援

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
2	37	地域交流館整備数（累計）【二実計】高齢者の社会参加といきがいづくりの拠点整備	高齢者福祉課	7館	14館	8館	平成25年4月より新たに2館、平成26年6月より4館を地域交流館へ機能転換する。
3	38	ことぶき館・地域交流館の利用登録者数	高齢者福祉課	4,457人	5,000人	4,572人	地域交流館への機能転換を図る中で、指定管理者による多様な事業を展開し、利用者満足度を高めることで個人登録の増を図る。

施策2 社会貢献活動への支援

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
4	42	シニア活動館整備数（累計）【二実計】高齢者の社会参加といきがいづくりの拠点整備	高齢者福祉課	2館	5館	3館	平成25年6月より1館を機能転換する。残り1館については、周辺道路の整備に合わせて機能転換を図る。
5	42	生涯学習・地域人材交流ネットワーク制度の整備【二実計】	生涯学習コミュニティ課	人材バンク登録者の活動日数2,700日	新たな仕組みによる人材バンクの活用	人材バンク登録者の活動日数4,253日	新宿未来創造財団が自主開発した人材情報検索・照会システムと連携し、区や財団事業だけでなく区民による登録者の活用促進を図る。
6	43	介護支援ボランティア・ポイント事業の登録ボランティア数	高齢者福祉課	231人	600人	446人	講義や研修を取り入れる等、講習会の内容を充実させることにより、ボランティア登録者の増を図る。

施策3 就業等の支援

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
7	46	高齢者の就職者数【二実計】障害者、高齢者、若年非就業者等に対する総合的な就労支援	消費者支援等担当課	200人	210人	210人	目標達成済み。今後も引き続き支援を継続する。
8	47	シルバー人材センターの受託件数	地域福祉課	11,683件	13,000件	11,704件	これまで行ってきた各種広報によるPRに加え、就業先や近隣へのチラシの手渡し等きめ細かなフォローを行い、様々な媒体や区内団体等を通して継続就業の受注拡大を図っていく。また、事業委員会を中心とした検討と活動により、自主事業の新規開発および受託事業の開拓に積極的に取り組み、新たな就業機会の確保・拡大に努めていく。

基本目標2 健康づくり・介護予防をすすめます

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
9	48	健康と回答した高齢者の割合（主観的健康観／一般高齢者調査）★	—	70.9%	75%	—	—

施策4 健康づくりの促進

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
10	54	特定健康診査受診率の向上	健康推進課	34.5% (23年度法定報告値)	※特定健康診査等実施計画に合わせる	32.3% (24年度特定健康診査受診率)	・健診実施を医療機関に一元化し区民にとってわかりやすく、受診しやすい特定健康診査実施体制に刷新する。 ・個別電話受診勧奨等の未受診者対策により受診者数の増加を図る。
11	54	70歳で22本以上の歯を持つ人の割合	健康推進課	73.9%	78%	71.7% (24年度歯科健康診査結果)	歯科健康診査の年齢の拡充により、歯科健診の受診機会を増加し、歯の喪失予防につなげる。

施策5 介護予防の推進

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
12	59	介護予防に関心のある高齢者の割合（一般高齢者調査）★	—	74.9%	80%	—	—
13	59	介護予防教室定員充足率	高齢者福祉課	83.7%	85%	95%	目標達成したため、現状の参加率の維持を図る。 介護予防の周知のための講習等を継続する。

基本目標3 いつまでも地域の中でくらす自立と安心のためのサービスを充実します

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
14	61	高齢者総合相談センターの認知度（一般高齢者調査）★	—	名称37.3% 機能29.1% 場所22.4%	名称50%以上 機能40%以上 場所30%以上	—	—
15	61	かかりつけ医をもつ65～74歳の人の割合（一般高齢者調査）★	—	67.9%	75%	—	—

施策6 介護保険サービスの提供と基盤整備

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
16	65	特別養護老人ホームの整備【二実計】	介護保険課	7所480人（小規模特養1所29人含む）	7所480人（小規模特養1所29人含む）	7所480人（小規模特養1所29人含む）	平成26年度までは新たな開設予定はなく目標値は現状と同一であるが、平成27年度の1所開設に向け、現在整備中である。
17	65	地域密着型サービスの整備【二実計】 ①小規模多機能型居宅介護 ②認知症高齢者グループホーム ③定期巡回・随時対応型訪問介護看護	介護保険課	①3所74人 ②7所117人 ③—	①9所224人 ②11所189人 ③3所135人	①4所99人 ②8所135人 ③2所19人	新たに創設された複合型サービスも指標に位置付け、整備を推進する。また、地価が高く用地確保が困難な区の特性を踏まえ、公有地活用を積極的に進める。
18	65	単独型ショートステイの整備【二実計】	介護保険課	—	1所20人	—	公有地を活用し、平成26年度末の開設を予定していたが、東京都等との調整に時間を要しており、平成27年度の1所開設に向け、現在協議中である。
19	66	在宅生活の継続意向（居宅サービス利用者調査）★	—	82.3%	85%	—	—

高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画 各施策指標の進捗状況一覧表

※「No.」欄…太字・下線ありのものは、平成21～23年度高齢者保健福祉計画でも指標となっていたもの。
 ※「現状」欄…「指標名」欄に【二実計】とあるものは平成23年度末（計画策定当時の見込）。それ以外は平成22年度。

※「指標名」欄…★は、「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」が出典。
 ※「頁」欄…新宿区高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画（平成24年度～平成26年度）の掲載ページ。

資料 1

施策7 自立生活への支援（介護保険外サービス）

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
20	70	配食サービス（月平均利用者数）	高齢者福祉課	599人	660人	537人	平成24年度にプロポーザル方式による事業者選定を行い、4事業者中2事業者が変更となった。今後も年度評価を実施し、着実に事業を進めていく。また、充実が図られている民間サービスの状況把握に努めていく。
21	70	緊急通報システム設置数	高齢者福祉課	586件	700件	633件	協力員の確保が困難なことから、平成24年度から新規利用は、警備会社に通報する受信センター方式へ一本化を図った。既存の消防庁方式の利用者についても、状況を把握しながら受信センター方式への移行を推進していく。

施策8 介護保険サービスの質の向上及び適正利用の促進

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
22	75	介護保険サービスの利用満足度（「満足」「やや満足」の割合）（居宅サービス利用者調査）★	—	92.7%	93%	—	—
23	75	事業者向けホームページ「新宿ケア倶楽部」アクセス数	介護保険課	※平成23年7月1日開設	6,000PV/月	710PV/月 （平成24年度平均値）	平成24年度末現在、区内事業所380所のうち、新宿ケア倶楽部に登録している事業者数は170所である。今後は事業者への周知活動を活発に行うことで登録事業者数を伸ばし、アクセス数の増につなげていく。

施策9 認知症高齢者支援の推進

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
24	83	認知症サポーターの活動拠点の整備【二実計】認知症サポーター推進事業	高齢者福祉課	—	3所	高齢者総合相談センターと調整を行い、活動拠点場所の検討等、平成25年度からの活動支援の準備を行った。	地域型高齢者総合相談センター3か所を1区域とし、東・中央・西各区域の1か所を認知症サポーターの活動拠点センターとして活動を行っていく。
25	83	認知症・もの忘れ相談【二実計】	保健予防課→高齢者福祉課	もの忘れ相談16回 認知症専門相談15回 （内3回は訪問相談）	24年度24回 25年度24回 26年度36回	もの忘れ相談12回 認知症専門相談5回 （保健予防課にて実施）	平成25年度から中央・西各区域1か所の高齢者総合相談センターで、各々年12回実施する。平成26年度には東地区でも開始し、3区域3か所に拡大する。
26	83	認知症介護者支援事業【二実計】 ①認知症介護者教室 ②認知症介護者家族会 ③認知症介護者相談	高齢者福祉課	①4日制20人 ②OB会として4回/年 ③ —	①24年度1回 25、26年度各3回 ②24年度4回（OB会） 25年度毎月1回3所 （家族会立ち上げ後） 26年度36回 ③25年度から12回 /各年度	①平成24年度1回 延べ45人 ②平成24年度4回 延べ37人 ③平成24年度は平成25年度に向けた準備期間で計画通りに実施した。	①NPO法人と連携し、5～7月の間に1コース全4回を3か所で開催する。 ②NPO法人と連携し、8月から毎月1回3か所で開催する。 ③専門医による認知症介護者相談を年8回開催する。（祝日に重なる月は除いた為、年8回とする）
27	85	認知症サポーター養成数	高齢者福祉課	3,816人	各年800人増	平成24年度中1,916人/77回 平成24年度末延べ6,913人	認知症サポーター養成講座を区民向けに年3回、職員向けに3回開催するとともに、各高齢者総合相談センターにおいても年3回以上開催する。その他、区民や区内事業所、学校等の依頼に応じて、認知症サポーター養成講座を適宜開催する。
28	85	認知症・もの忘れ相談医名簿に掲載されているかかりつけ医の人数	高齢者福祉課	32人	50人	36人	認知症の医療とケアの連携体制充実の為、医師の研修会の実施等を新宿区医師会に委託し、認知症・もの忘れ相談医研修を年2回実施する。

施策10 在宅療養体制の充実

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
15	93	【再掲】かかりつけ医をもつ65～74歳の人の割合（一般高齢者調査）★	—	67.9%	75%	—	—
29	93	在宅看取り数（在宅療養支援診療所等に係る報告書に基づく）	健康推進課	338人	在宅看取り数が増える	別の手法により在宅看取り数をとる予定（在宅療養支援診療所等に係る報告書の書式変更のため）	地域見守り協力員連絡会で、在宅療養に関する理解促進を図る（在宅療養ハンドブックを活用した地域学習会の開催：3回）。また、関係機関向けには緩和ケアについての研修や連携会議を開催し（かかりつけ医機能推進事業）、関係機関同士の連携強化を図っていく。

施策11 高齢者総合相談センターの機能強化の推進

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
30	99	区有施設に併設の高齢者総合相談センター数【二実計】高齢者総合相談センターの機能強化	高齢者福祉課	2所 （1所→2所・修正）	7所	5所	平成25年度は、柏木・角筈高齢者総合相談センター及び四谷高齢者総合相談センターの移転を行う。
31	100	高齢者総合相談センターにおけるケアマネジャー支援相談件数	高齢者福祉課	880件	1,000件以上	1,326件	高齢者総合相談センターの主任介護支援専門員と区内民間事業者の主任介護支援専門員が連携して連絡会を設置し、地域で活動するケアマネジャーに対する支援体制の充実を図る。

高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画 各施策指標の進捗状況一覧表

※「No.」欄…太字・下線ありのものは、平成21～23年度高齢者保健福祉計画でも指標となっていたもの。
 ※「現状」欄…「指標名」欄に【二実計】とあるものは平成23年度末（計画策定当時の見込）。それ以外は平成22年度。

※「指標名」欄…★は、「新宿区高齢者の保健と福祉に関する調査」が出典。
 ※「頁」欄…新宿区高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画（平成24年度～平成26年度）の掲載ページ。

資料 1

施策12 暮らしやすいまちづくりと住宅の支援

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
32	105	支援付き高齢者住宅の整備【二実計】	高齢者福祉課	—	—	—	引き続き、高齢者に配慮したすまいの整備を検討を進める。
33	106	道路のバリアフリー化【二実計】	道路課	14路線完了	17路線完了	15路線完了	残る2路線についての道路工事の設計及び発注を行う。
34	106	清潔できれいなトイレづくり【二実計】	みどり公園課	公園トイレ25か所 公衆トイレ10か所	公園トイレ29か所 公衆トイレ11か所	公園トイレ30か所 公衆トイレ10か所	平成25～26年度に ・公園トイレ 1か所改修(予定) ・公衆トイレ 1か所改修(予定)を行う。
35	106	みんなで考える身近な公園の整備【二実計】	みどり公園課	8園	10園	9園	平成25～26年度に1園整備(予定)を行う。
36	106	ユニバーサルデザイン・ガイドラインの推進【二実計】	都市計画課	ガイドライン 普及・啓発	ガイドライン 普及・啓発、調査	UDまちづくりガイドラインの普及・啓発のための研修等を2回実施。 UDまちづくりの普及・啓発の方針を検討するための推進会議を立ち上げた	平成27年度に区民意識調査等で認識度30%を達成するために、推進会議等の連携により、普及・啓発の方針策定と既存事業の検証を行い、ユニバーサルデザインガイドラインのさらなる普及・推進を図る。
37	106	建築物等耐震化支援事業【二実計】	地域整備課	—	区内住宅の耐震化率90% (平成27年度までに)	88.2%	地域センターまつりや事業パンフ配布などによる普及啓発活動を積極的に行う。
38	106	細街路の拡幅整備【二実計】	建築調整課	年間整備目標6.5km	年間整備目標6.5km	年間5.6km	区民の理解、協力が欠かせないため、土地所有者等への周知啓発を一層積極的に行う。
39	107	高齢者等入居支援(年間)【二実計】 ①保証料助成 ②緊急通報装置等利用料助成	住宅課	①各年度25件 ②—	①各年度20件 ②各年度20件	① 3件 ② 4件	引き続き事業の周知に努める。
40	108	住宅住み替え相談における70歳以上の成約件数	住宅課	9件	12件	18件	引き続き事業の周知に努める。

基本目標4 尊厳ある暮らしを支援します

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
41	109	高齢者の権利擁護ネットワーク(地域版)の構築	高齢者福祉課	0か所	3か所	5か所	高齢者の権利擁護ネットワーク(地域版)の構築は進んでおり、地域型の高齢者総合相談センターが中心となって、地域の特性に応じた様々なネットワークを構築している。また、高齢者の権利擁護ネットワーク協議会では、高齢者の課題に対応した3つの部会を設置し、高齢者の尊厳ある暮らしの実現に向けた施策を推進する。

施策13 権利擁護・虐待防止の推進

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
42	114	成年後見制度の利用促進【二実計】 ①成年後見制度の内容を理解している人の割合②成年後見・権利擁護専門相談件数	地域福祉課	①35% ②年間180件	①60% 平成25年度より目標値変更 42%→60% ②年間200件	①43.8% ②年間206件	引き続き、成年後見制度推進機関として新宿区社会福祉協議会に委託して「新宿区成年後見センター」を設置し、パンフレットや広報等で周知するとともに、講習会、相談会を開催し、普及していく。また、警察や地域ボランティア等、高齢者と接する機会が多い方々や関係する窓口と連携していく仕組みづくりを検討していく。
43	115	新宿区成年後見センターの認知度(一般高齢者調査)★	—	24.3%	35%	—	—

基本目標5 支え合いのしくみづくりをすすめます

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
44	117	ぬくもりだより配布に関わる住民等の人数	高齢者福祉課	734人	800人	738人	介護支援ボランティア・ポイント事業との連携を含め、社会福祉協議会との協働を進めていく。

施策14 介護者への支援

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
45	121	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進【二実計】 ①推進企業認定数 ②コンサルタントの派遣 ③ワーク・ライフ・バランスセミナー	男女共同参画課	①30社 ②年30回 ③3回	各年度ごとに ①10社 ②60回 ③3回	①35社 ②年30回 ③3回	各年度ごとに ①10社 ②60回 ③3回 を目指す。
46	122	家族介護者教室・交流会参加人数(年間)	高齢者福祉課	448人	510人	448名	家族介護者教室・交流会の運営を推進するとともに、交流会参加者が交流を深めるために起ち上げた「自主グループ」への支援を行うことにより、介護者同志の交流の充実を図る。

施策15 高齢者を見守り・支え合う地域づくり

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
47	126	地域安心カフェの展開【二実計】	高齢者福祉課	1地域3所	3地域5所	1地域3所	シニア活動館等区有施設での開設を含め、地域ボランティア団体等との連携を図りながら進めていく。
48	128	75歳以上の一人暮らし高齢者のうち、ぬくもりだよりを配布している人の割合	高齢者福祉課	74.5%	80%	74%	ふれあい訪問・地域見守り協力員事業との連携を深めながら進めていく。

施策16 災害時支援体制の整備

No.	頁	指標名	担当課	現状	目標値	平成24年度末進捗状況	平成26年度目標達成に向けての取組み
49	132	災害時要援護者名簿の新規登録者数	地域福祉課	1,595人	各年度200人増	2,645人	引き続き、様々な機会を通じて登録勧奨を行っていく。
50	132	災害時要援護者名簿の認知度(一般高齢者調査)★	—	9.3%	15%	—	—